

公益社団法人日本地震工学会

第2回 強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会

議事要旨

1. 日 時 平成26年12月12日(金) 13時30分～16時00分

2. 場 所 専売ビル8階 第2会議室

3. 議 題

(1) 前回議事録確認

(2) 特集号「東北地方太平洋沖地震の強震動記録と地盤震動特性」の論文募集

(3) 気象庁観測点での表層地盤モデルの情報収集

(4) 長野県北部地震のJAEE調査団

(5) 話題提供

(6) その他

4. 配布資料

2-1 前回議事録

2-2 日本地震工学会論文集・特集号「東北地方太平洋沖地震の強震動記録と地盤震動特性」の論文募集のお知らせ

5. 出席者

委員長 東(電中研)

委員 山中(東工大)、松島(京大)、植竹(東電)、池浦(鹿島技研)、南雲(東電設計)、早川(清水技研)、金田(竹中技研)、津野(鉄道総研)

6. 議事概要

(1) 前回議事録確認(資料2-1)

・第1回委員会の議事録を確認した。

(2) 特集号「東北地方太平洋沖地震の強震動記録と地盤震動特性」の論文募集(資料2-2)

・山中委員より、論文集特集号についての報告があった。投稿する際は、2015年1月末日の論文公募申し込み締め切りで意思表示をする必要があるとの説明があった。

(3) 気象庁観測点での表層地盤モデルの情報収集

・気象庁観測点の表層地盤モデルについて、雑誌毎に既論文の資料調査を本研究会委員で分担して行うことの提案があり、各委員の役割は以下となった。建築学会の担当は池浦委員と早川委員、土木学会/地震学会は南雲委員と津野委員、日本地震工学会/シンポは植竹委員、物理探査は山中委員、地盤工学会は金田委員。次回委員会でその調査結果を報告する。

・気象庁の担当者に打診し、可能であれば次回委員会で気象庁の方に話題提供をして頂く。

(4) 長野県北部地震のJAEE調査団

・山中委員より、長野県北部地震のJAEE調査団についての報告があった。調査団は、団員が一緒に現地で行動するというのではなく、個別に調査した結果等を持ち寄り、調査団内で取りまとめて調査結果の成果を出すという形を取るとの説明があった。また、2015年度内に報告書の作成と報告会の開催があるとの説明があった。

(5) 話題提供

以下の 6 件の話題提供があり、活発な質疑応答があった。

- ・山中委員「2014/11/22 長野県神城断層地震の余震観測と微動観測」
- ・東委員「2014/11/22 長野県北部の地震(M6.7)K-NET 白馬微動観測関係報告(11/30)」
- ・東委員「2014/11/22 長野県北部地震(K-NET 白馬での微動計測結果の速報)」
- ・植竹委員「東京湾岸で観測された二つの長野県北部地震(2011 年 3 月 12 日 M6.7, 2014 年 11 月 22 日 M6.7)の記録の比較」
- ・山中委員「地震動の空間変動特性評価のための表層地盤の不均質構造のモデル化に関する研究」
- ・池浦委員「2014/11/22 長野県北部地震(Mj6.7)による強震動の距離減衰特性の検討について」

(6) その他

- ・次回の委員会開催日は、2015 年 2 月 27 日（金）14：00 - 17：00 とする。

以 上